

～携帯電話基地局を整備～

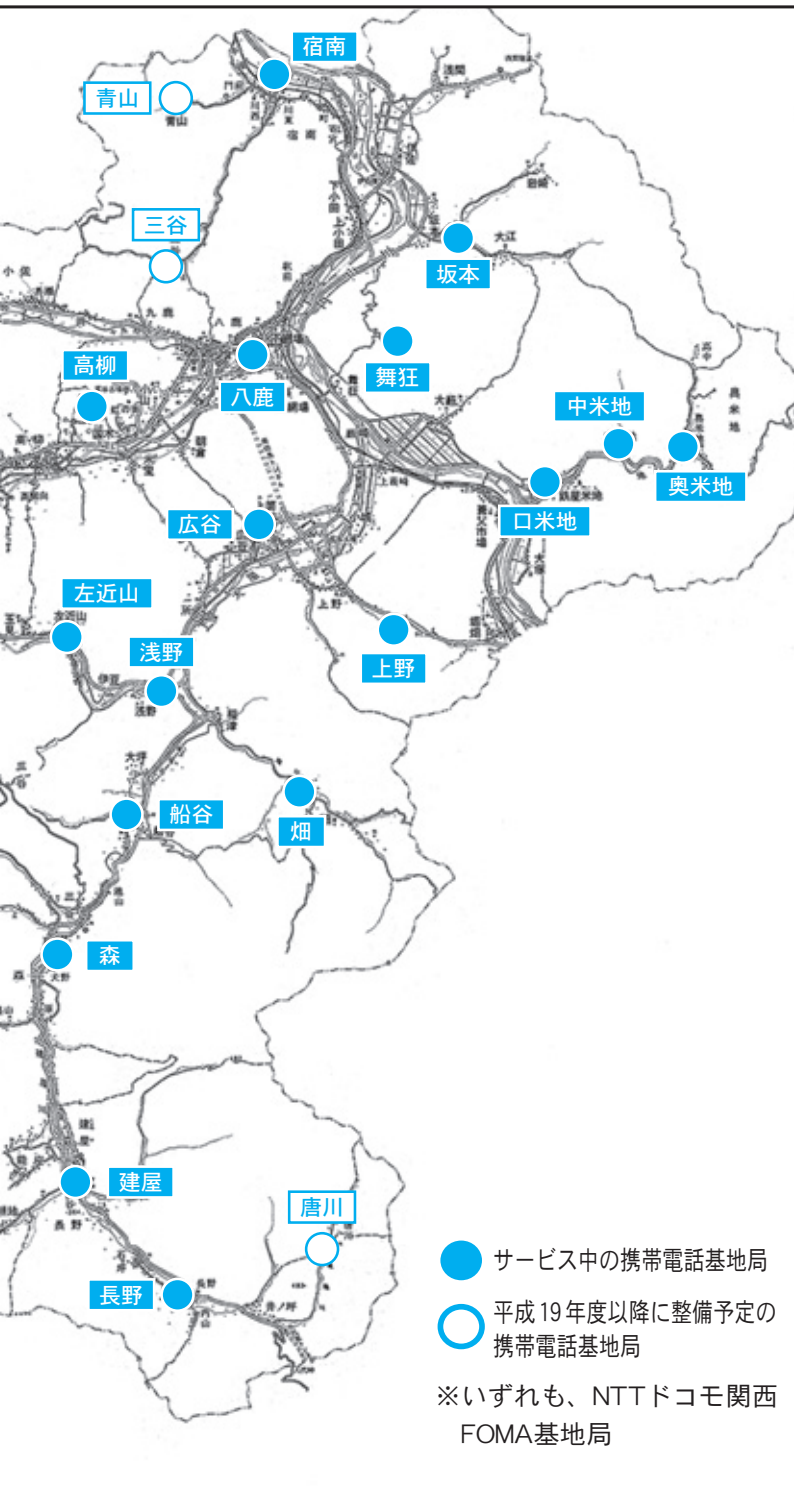
# 通話エリアが 拡大しました

養父市では、過疎地域における情報格差是正を図ることを目的に、平成17年度から「移動通信用鉄塔施設（携帯電話基地局）整備事業」を進めてきました。

急激な情報化が進む中、日本での携帯電話契約者数は約7200万件で、加入電話（普通の固定式電話）よりも契約数が多くなっています。

ここでは、本事業の概要についてお知らせします。

▶整備された移動通信用鉄塔（養父市畑）



## 事業の概要

本事業は、平成17～18年度にかけて、移動通信用鉄塔施設整備事業（総務省・兵庫県補助）および無線システム普及支援事業（総務省補助）などを活用して進めてきたもので、携帯電話通話エリア整備に関する要望を電気通信事業者各社に行った結果、事業に参画した株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ関西（以下「NTTドコモ関西」と）養父市が協同して、第三世代携帯電話（FOMA）基地局の整備を進めてきたものです。

本事業の完成に伴い、本年3月より、新たに「畑地区、石原地区、中間地区、若杉地区、横行地区」において通話エリアが拡大しました。なお、これらの建設事業費は約1億4千万円です。

## 市内の整備状況は？

平成17年度までに、NTTドコモ関西が独自に23局の携帯電話基地局を整備していました。さらに、平成17～18年度において、市がケーブルテレビ用に整備した光ファイバ線の空芯線を貸与することにより、NTTドコモ関西が13局の携帯電話基地局を建設。また、平成18～19年度事